

① 辻浅夫 [ほか]著 横山勝彦 来田宣幸 編著
『ライフスキル教育:スポーツを通して
伝える「生きる力」』

(昭和堂)

本書は、本学の辻浅夫教授が共著者として出版されたものです。現代の多くの青少年がかかえる「いじめ」や「ひきこもり」などの諸問題を、スポーツマンシップを育成することにより、解決しようというものです。第1部において、ライフスキル教育の重要性と現状がまとめられ、第2部において、これからの課題と展望が述べられています。

辻教授は第1部で日本のスポーツ界の動向や現在取り組まれているライフスキルプログラムなどを第1章、第3章、第5章で執筆しています。

スポーツに力を注がれている方は勿論ですが、教員を目指している方にも是非お読み頂きたい一冊です。

375-Yok (N.K.)

③ 和氣邦夫 著
『ユニセフではたらこう』

(白水社)

昨年10月に本学で行われたIAEAの天野氏の講演は、まだ記憶に新しい所です。その講演の中で天野氏は、国際公務員についても言及されていました。働く現場の内情は判り辛いものですが、本書では長年に亘り国連職員として活躍された著者が、その豊富な経験を語っています。本書を通して国際機関で働くというのはどういう事か、更に仕事とは何かという点について考えてみてはいかがでしょうか。

369.4-Wak (T. F.)



② 日本スペイン協会 編著
『スペインの家庭料理:
comida casera española 100 recetas』

(日本スペイン協会)

異文化を理解する上で「食」にまさる取り口、近道はないと言われています。スペインは、衣食住と言うより、食衣住、着飾るよりも食べるのが大事といっってはばからないお国柄です。ありふれた日常の家庭料理から手近な材料で作れる簡単なレシピが100、カラー写真とわかりやすい解説と共に掲載されています。

スペインの家庭で食事に招かれた時やレストランに食事に行った時の会話で必ず使う単語やスペイン料理のレシピを見るときに出てくる料理用語も掲載されていますので、料理を食べたり、作ったりしながら自然とスペイン語が習得できます。

593.23-Supe(S.S.)

④ 島田雅彦 著
『オペラ・シンドローム:愛と死の饗宴』

(日本放送出版協会)

本書は、オペラについて知りたいと思っている人には是非ともお奨めしたい入門書です。モーツァルト、ヴェルディ、ワーグナー、プッチーニなどの代表的なオペラ作品を取り上げ、その音楽的な特徴と共に、登場人物の人間関係を図解しながらストーリーを分かりやすく説明しています。マリア・カラスやデル・モナコといったオペラ歌手たちの声の質や性格も詳しく扱って楽しく読ませてくれますが、作品の歴史的背景や思想にまで触れていて、奥行きと深みのある解説となっています。

オペラで表現される激しい喜怒哀楽の感情に触れて自分の感情に揺さぶりをかけることが、精神的なりハビリテーションを促すことになるかと著者は説いています。

766.1-Shi (F.O.)